

## 2022年1月のガス料金について (柏崎地区)

2021年11月26日  
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、2022年1月検針分に適用する従量料金単価を、別紙のとおり、2021年12月検針分比べて、柏崎地区は1m<sup>3</sup>あたり+3.08円(税込)調整させていただきます。

これは、2021年8月～2021年10月のLNG平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格による原料費調整を行うものです。

標準的なご家庭(月間のガスご使用量が38m<sup>3</sup>の場合)では、2021年12月適用料金と比べて1カ月あたり、117円(税込)の引き上げとなります。

なお、2022年1月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>  
北陸ガス株式会社  
企画グループ 中山  
TEL 025-245-2214

## 料金表（2022年1月）

- 供給約款料金（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）  
2021年12月に適用する従量料金単価と比較した場合、1㎡あたり、+3.08円（税込）調整させていただきます。なお、基準従量料金単価に対して、+21.40円（税込）調整して料金を算定いたします。

また、基本料金は変わりません。

柏崎地区（43.1メガジュール/㎡） （税込）

	月間使用量区分	基本料金	従量料金（1㎡につき）
料金表A	0㎡～25㎡まで	627.00円	142.49円
料金表B	25㎡超～250㎡まで	790.90円	135.94円
料金表C	250㎡超～	1,615.90円	132.64円

【ガス料金の計算式】

$$1 \text{ カ月のガス料金} = \text{基本料金} + \text{ガス使用量} \times \text{従量料金単価}$$

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

柏崎地区（43.1メガジュール/㎡の場合、税込）

ご使用量	2022年1月料金	2021年12月料金	増減額	増減率
38㎡	5,956円	5,839円	+117円	+2.00%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1カ月あたり平均（2016年度～2020年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2021年8月～ 2021年10月原料価格	2021年7月～ 2021年9月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 （貿易統計値）	61,940円/t	58,000円/t	34,120円/t
平均原料価格	61,940円/t	58,000円/t	34,120円/t

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格（2021年8月～2021年10月貿易統計値）} \times 1.0000 \\ &= 61,940\text{円}/t \times 1.0000 \\ &= 61,940.000\text{円}/t \\ &\quad \downarrow \text{（10円未満四捨五入）} \\ &= 61,940\text{円}/t \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 61,940\text{円/t} - 34,120\text{円/t} \\ &= 27,820\text{円/t} \\ &\quad \downarrow (\text{100円未満切捨て}) \\ &= 27,800\text{円/t}\end{aligned}$$

■調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

<柏崎地区>

$$\begin{aligned}\text{調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 0.070\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 27,800\text{円} / 100\text{円} \times 0.070\text{円} \times 1.10 \\ &= 21.40600\text{円/m}^3 \\ &\quad \downarrow (\text{小数点第3位以下の端数は切り捨て}) \\ &= 21.40\text{円/m}^3\end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を1 m<sup>3</sup>あたり0.07700円(0.070円に1.10(1+消費税率)を乗じた値)調整します。

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+21.40円(税込)調整します。
- 2021年12月に適用する従量料金単価と比較した場合、1 m<sup>3</sup>あたり+3.08円(税込)調整させていただきます。